



～ Time is Treasure ～

※「第1号」に引き続き、今回も市内小中学校で実践している好事例を紹介します。

発行：働き方改革プロジェクトチーム
 栃木市教育委員会事務局
 教育総務課教育政策係
 電話：0282-21-2467
 FAX：0282-21-2689
 Email：kyoumu02@city.tochigi.lg.jp

取組紹介①

皆川城東小学校

「業務の削減」や「業務の効率化」のために、こんな取組をしています！

放課後の業務時間の確保！

授業時間と時数は確保しながらも、週2日（水曜日と金曜日）を短縮日課とし、放課後は、個々の業務の時間としています。会議・研修等は、月1回の職員会議と必要最小限の会議・研修のみ設定しています。

【導入の効果】教材研究や授業準備等の「子どもと向き合う時間」として有効に活用しています。また、この日は、業務に専念できるよう、あえて管理職は定時退勤を促すことはしませんので、業務に集中できます。

削減時間 ⇒ 6～8時間/週

PTA活動の簡略化！

PTA役員会において、PTA活動のあり方について話し合いを行い、組織や活動の見直しを図りました。広報委員会の大きな負担となっていた広報誌の廃刊等、各専門委員会での活動内容を見直しました。

【導入の効果】教職員と保護者の負担軽減の他、保護者ボランティアとしての積極的な参画が多く見られるようになりました！

校務分掌の効率化！

低ブロックに「体・保健部門」、中ブロックに「心・児童指導部門」、高ブロックに「学習部門」を割り当て、ブロック内の皆で全ての校務分掌を担当するようにしました。

【導入の効果】欠員の際に、校務分掌業務が滞ることはありません。ブロックでの授業づくり研修等で集まった際も、校務分掌業務を進めることができ、非常に効率的です！

年度始め業務の削減！

年度始めに、教育委員会へ提出する文書作成や保護者が作成する文書依頼は、3月中に実施しています。特に、提出書類が多い教頭や教務主任にとって有効です。年度始めは、保護者も多忙です。多忙な4・5月の業務の削減に心がけています。

アシストネットの活用！

とちぎ未来アシストネットを活用した、夏休みの児童作品の処理（個包装等）や大学生による授業サポートが行われています。担任は、非常に助かります。

教育環境の見直し！

必要としない校内掲示版を撤去し、掲示物作成業務の軽減に繋がりました。また、児童数を考慮し、学校農園や花壇を半分にすることで、負担軽減に繋がりました。使用しないスペースは、ウッドチップを敷き詰め、雑草が生えにくいようにしました。

また、物品の見える化で、探す時間の削減に繋がっています。

業務の削減や効率化を図る際には、

「メリットとデメリットを十分に考えた上で進めること」

を心がけているそうです！



寺尾中学校

「業務の削減」や「業務の効率化」のために、こんな取組をしています！

管理職の適切なリーダーシップによる

組織の系統を明確にした学校行事の精選・見直し！ ～教務主任を中心として～

教務主任が中心となって、以下のように学校行事等の精選・見直しを行っています。

- ① 職員の意見を**教務主任が集約・まとめる**（学期ごと）
- ② 一度、**管理職に回議**
→ 管理職が**精選検討の対象にするかどうかを判断し、その考えを教職員に明確に示す！**
↓
「なぜ、検討の対象にしなかったのか？」等
- ③ 職員会議で提示
- ④ 行事検討会議の開催
- ⑤ 行事検討会議で検討した案を教務主任が集約
- ⑥ 企画・運営委員会で提案
- ⑦ 校長が最終判断 → 次年度の教育課程編成に反映！

【導入の効果】

- ・ **組織の系統を明確にする**とともに、**精選・見直しの手順を分かりやすく**することで、物事がスムーズに進み、効率的な見直しが図られました。
- ・ 学校経営に対する **教職員の参画意識** が高まりました。
→ 「**主体性**」と「**モチベーション**」のアップ！ ～ボトムアップ～

大切なことは、**どれを、だれが、どのように検討していくか**、そして、**それをどのような手順で提案していくか**を明確にすること！
こうすることで、**系統的・効率的な検討**が行えるんですね！



参考資料紹介

～文科省発行「働き方改革事例集 改訂版(令和4年2月)」の紹介～

ここでは、課題解決のヒントが満載です！

本事例集には、業務改善に役立つ実践事例が満載です。関心の高い項目からご覧いただき、働き方改革の推進にご活用ください。

以下の「3ワード」で楽々検索！

R4 改訂版 文科省



◎事例を1つ紹介します。

部活動顧問の負担軽減のために…

複数の部活動での合同トレーニングの実施により、指導にあたる顧問数を削減し、負担軽減を図っている事例です。

捻出した時間を、**教材研究**等に充てることができますね！



合同練習の実施

小 中 高 特支

取組内容 ・ 複数の部活での合同トレーニングの実施により、指導にあたる顧問数を削減し、負担軽減を図った。

削減時間
※担当1人あたりの目安 ・ 週1時間×年43週 = **43.0** 時間/年

事例提供校からの声 ・ 顧問1人あたりの負担を減らすことができた。